

「新しい小学校の誕生」

平年並みであれば桜が満開となる頃、来る4月6日に高松市に新しい小学校が2校誕生します。高松第一小学校と新番丁小学校です。

高松第一小学校は、松島小学校、築地小学校および新塩屋町小学校が統合してできる学校で、一足早く開校した高松第一中学校と併せて、県下初の小中一貫教育の学校として生まれ変わります。校舎も小学校と中学校とが合体された形で整備され、ぜいたくと思えるほど、広々と明るい作りとなっています。

新番丁小学校は、日新小学校、二番丁小学校および四番丁小学校が統合してできる学校です。こちらの校舎は、シンボルとなる時計台を持ち、特に安全面と環境面に配慮した設計となっており、中庭を中心に置いたボックス型の校舎の四隅はすべてガラス張りの階段室で、明るく、どの場所からも二方向へ分散避難できるようになっています。

もちろん、優れた特徴は、ハード面だけではなく、教育の中身（ソフト）についても、さまざまな工夫が^{ほどこ}施されようとしています。

高松第一小学校は、小中一貫9年間のうちの六年生までを受け持つことになります。そして、4年・3年・2年で区分してカリキュラム編成をして、五年生から一部教科担任制を導入することとしています。

新番丁小学校では、学校と保護者・地域が互いに共同して子どもたちにとってより良い学校教育ができるようにサポートする組織を作り、地域や保護者が参画と支援をしながら確かな学力の育成や特色ある教育課程を実現していく予定です。

私たちが決して忘れてはならないのは、この二つの小学校の誕生の裏には、市の中心部の歴史と伝統のある六つの小学校の閉校という、卒業生や地域の人たちにとって、哀惜の念を禁じ得ないであろう出来事が存在していることです。それでも子どもたちの将来のためにと、地域・保護者の代表が「新しい学校づくり協議会」に長年、無償で参加され、多くの関係者が真剣な議論を重ねて、統合校の整備に取り組んでいただきました。その思いに報いる意味でも、両校が良いスタートを切り、近い将来、名声が、市内外に響きわたるような学校となることを願っています。